2027 年度　臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	歯周病学講座
主任教授	齋藤　淳
プログラム責任者名 （プログラムの管理・運営）	齋藤　淳
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	日本歯周病学会歯周病認定医，日本歯科専門医機構（日本歯周病学会）歯周病専門医　※在籍年数によって異なる
研修期間（入学時期）	原則として 2 年間以上　（原則として 4 月）
受入れ人数（総数）	8 名程度（総数）
指導医	齋藤　淳，富田幸代，今村健太郎，山下慶子
修了の認定要件	所定のプログラムを修了すること

プログラムの目的

日本歯周病学会の専門医・認定医取得に必要な歯周病治療の研修を目的とする。

ユニット

保存科（歯周病学講座）の臨床専門専修科プログラム

一般目標（GIO）

日本歯周病学会認定医，専門医（日本歯科専門医機構歯周病専門医）資格を取得するために、歯周治療に関する高度な知識、技能を修得する

行動目標（SBOs）

1. 歯周組織検査を適切に行う
2. 診断を基に，予後の判定，治療計画の立案を行う
3. 歯周基本治療を行う
4. 歯周外科手術（含 歯周組織再生療法）を行う
5. 適切なメインテナンス・SPT プログラムを提供する
6. 基本的な臨床研究を実施する

方略（ＬＳ）

以下の項目について，リクワイヤメント記録を作成し，指導医の指導，監督のもとで研修を行う。
1. 登録症例：3 症例以上登録し，歯周基本治療からメインテナンスまでの一連の治療を行う。
2. 治療症例：診査・診断・治療計画の立案（3 症例），プラークコントロール(3 症例)，スケーリング・ルートプレーニング（3 症例），フラップ手術（5 症例），メインテナンス（1 症例）を行う。
3. 知識の修得：(1)症例プレゼンテーション（上記症例のうち 10 症例），(2)症例に対する文献考察（海外論文抄読会：10 件）

評価（ＥＶ）

1. 形成的評価：観察記録（各項目の研修ごとに指導医からフィードバック）
2. 総括的評価：研修終了時にリクワイヤメント記録を提出し，研修成果を学会で発表し，研修態度，研修成果を総合的に判断する。

プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準

[専門医]1. 日本歯周病学会で認めた研修施設で通算 5 年以上の歯周病学の研修と臨床経験を有すること　2. 通算 5 年以上の学会員であること　3. 教育研修単位を 50 単位以上修得すること　4. 専門医試験に合格した者　[認定医]日本歯周病学会の規定を参照のこと

問合せ先	教授・齋藤　淳（atsaito@tdc.ac.jp）